

3.11を学びに変える

あの日起きたことに、子どもたちはどう向き合い生きてきたのか、どのような未来に向かおうとしているのか、そして、私たち大人の役割について、事例をあげて考察します。全国どこでも「被災地」になり得る時代です。また、私たちの前に立ちはだかるのは自然災害だけではありません。21世紀を生き抜くために、3.11をどのような学びに変えていくべきなのかを考えます。

講師 **佐藤 敏郎 氏**

一般社団法人 スマートサフライビジョン特別講師

日時：令和6年6月29日(土)
13時00分～15時00分
(受付開始 12時40分)

場所：信州大学経法学部第2講義室

※参加費無料・申込必要

(保健学科ホームページに申込フォーム掲載予定)→→→



講師紹介

1963年、宮城県石巻市生まれ。宮城教育大学卒業後、中学校の国語科教諭として宮城県内の中学校に勤務(2002年から3年間は女川町生涯学習課勤務)。2015年3月退職。

東日本大震災当時は、宮城県女川第一中学校(現在の女川中学校)に勤務。震災後は女川中学校、矢本第二中学校で防災担当主幹教諭、宮城県の防災教育副読本の編集委員も歴任。

震災で当時大川小学校6年の次女を亡くす。現在は、全国の学校、地方自治体、企業、団体等で講演活動を行う。2015年からは、震災当時小学生だった高校生が若者とディスカッションを行う企画「あの日を語ろう、未来を語ろう」を各地で展開。2016年「16歳の語り部」(ポプラ社)を刊行、「平成29年度 児童福祉文化賞推薦作品」を受賞。

大川伝承の会 共同代表、NPOカタリバアドバイザーの他、ラジオのパーソナリティーとしても活動。

交通のご案内

- バス** JR松本駅「お城口（東口）」を出て前方
ぐるっとまつもとバス「松本駅お城口広場」発 運賃200円
22番乗り場 [横田信大循環線]【大学西門】下車（所要時間約25分）
23番乗り場 [信大横田循環線]【大学西門】下車（所要時間約15分）
- タクシー** 松本駅から約10分（約1,500円）「信州大学西門」とお伝え下さい。

*大学構内に駐車場はありませんのでご注意ください。

車でお越しの場合は、病院駐車場（有料）あるいは周辺の駐車場のご利用となります。

会場（経法学部第2講義室）のご案内

信州大学西門からキャンパス内に入って、前方左側に見える建物の2階になります。

案内図

